世界に発信

ものづくり日本大賞

第5回ものづくり日本大賞（東北管内）表彰式

我が国の産業・文化を支える「ものづくり」の継承・発展へ

東北の〝技術力〟に高い評価

国内外に向け発信へ

受賞者、意気込み新たに

東北経済産業局は10月24日、仙台市青葉区のTKPガーデンシティ仙台勾当台で「第5回ものづくり日本大賞」の表彰式を開いた。経済産業省関連で東北地域から経済産業大臣賞2件、特別賞1件など18件の受賞となった。地場企業はじめ東北地域への進出企業も含めて東北の〝技術力〟が高い評価を受けた。高い技術力を持つ東北のモノづくり企業。しかし、グローバル競争の激化で苦戦もしている。表彰式後には、東北経産局と中小企業基盤整備機構東北本部が共催で企業連携による受注力強化などを探る「ものづくり支援セミナー」も開いた。同セミナーでは、ゼネラルプロダクションの石崎義公社長とアイシン精機顧問の奈倉伸芳氏が日本のモノづくりへの熱いメッセージを送った。

賞状を受け取る後藤隆司日進工具副社長

第5回ものづくり日本大賞の経済産業大臣賞および特別賞の表彰は9月に東京都内で開かれた。これに続いて、東北経済産業局は、東北管内関係における優秀賞と東北経済産業局長賞の表彰を行った。仙台での表彰式では守本憲弘東北経産局長から各社に賞状が授与された。東北のモノづくりの情熱が高く評価され、今後は国内外に向けた技術力の発信が一段と期待されている。

東北経済産業局管内関係では優秀賞が斉藤光学製作所（秋田県美郷町）の齊藤伸英氏ら4人のチームなど3件が選ばれた。東北経済産業局長賞が製造・生産プロセス2件、製品・技術開発9件、伝統技術の応用1件が選ばれた。経済産業大臣賞を受賞したのが、フロンティア・ラボ（福島県郡山市）の「多機能型熱分散装置を利用する高分子材料分析システムの開発」とクレハ（福島県いわき市）の「環境負荷低減を実現する高機能型生分解性樹脂ポリグリコール酸（PGA）の開発」の2件。特別賞は、水沢鋳工所（岩手県奥州市）の「業界初！IH炊飯ジャー用南部鉄器製内釜の開発」となった。東北管内から計18件、86人が受賞した。

水沢鋳工所の及川勝比古社長らが受賞製品について説明した

約160人の参加者がつめかけた

賞状授与後には、経済産業大臣賞と特別賞の受賞者紹介があった。フロンティア・ラボの渡辺忠一氏ら6人のチームが開発したシステムは、分析処理能力や信頼性などを大幅に向上させた高分子材料分析システム。素材の熱分解により発生したガスを解析し、材料の組成を迅速かつ正確に同定する。熱分解生成物から元の組成を推測するためのデータベース・解析ソフトウエアとの組み合わせにより効率的な分析を可能にした。

今回同社は技術力だけではなく独自のビジネスモデルも評価された。開発は産学官連携による基礎・応用研究を進め、自社開発のソフトウエアも組み合わせて製品化。独自の営業部門は持たない。販売は業界のトップクラス企業との連携により自社ブランドで世界中に販売している。表彰式で同社の渡辺壱氏は「メード・イン・ジャパンの名の下に、今後も世界に製品を送り出したい」と今後の飛躍を誓った。

クレハの佐藤浩幸氏ら7人のチームは、生分解性に加えて、耐熱性と既存樹脂の中でもトップクラスの機械強度とガスバリアー性を持つPGAの量産に世界で初めて成功した。溶媒の工夫などの独自合成技術を用いた。シェールガスの掘削材料として採用されたほか、包装材料医療用途での活用が始まっているという。

特別賞の水沢鋳工所の及川勝比古氏ら7人のチームは、南部鉄器の伝統的な職人の技術と自動車部品など近代的な自動車鋳造技術を使い、仕上がりにバラツキがない炊飯ジャー用南部鉄器内釜の量産化に成功した。蓄熱性の高い鉄でつくられた南部鉄器内釜はIH加熱とも相性が良いという。

薄肉化、高強度化、低コスト化を実現し、他の調理器具への参入も見込める。伝統ある産地「南部鉄器」の知名度を生かして差別化、高付加価値化につなげたのが受賞理由の一つ。新しいクールジャパンのモデルとなる事例と評価された。及川氏は「非常にうれしい。今後も南部鉄器の伝統の継承と現在の技術を織り込んで精進していきたい」と新たなモノづくりへの意気込みを示した。

東北経済産業局長賞は計12件。製品・技術開発テーマの受賞が多かった。ベスト（山形県鶴岡市）の斎藤秀紀氏ら3人のチームは「高齢者および要介護者の食のクオリティー・オブ・ライフ」で受賞。従来の介護食の形はサイコロ状や形を失ったミキサー食などが一般的。同社が開発した「再成形ソフト食」はサケなどの食材をペースト状に加工し、素材そのものから型取りした独自の型枠を使って再成形する。目で見て食欲をそそり、食べておいしさを感じられる研究開発を進め、再成形ソフト食の製造技術を確立した。食物をかみ砕く機能や飲み込む機能が低下した人の食生活を改善する狙いに開発した。

日進工具（宮城県大和町）の後藤隆司氏ら7人のチームは「硬脆材の微細切削加工を可能とするシステムの構築」で受賞。耐熱性、耐摩耗性に優れる硬脆材料の切削加工を可能にするダイヤ工具と微細加工用CAD／コンピューター利用製造（CAM）ソフトを開発した。これにより高機能、多機能化する小型部品の製作に求められる高精度化などを追求した。

受賞企業の製品を一堂に展示

ごあいさつ

「連携」「融合」がキーワード

東北経済産業局長
守本　憲弘氏

「第5回ものづくり日本大賞」におきまして、栄えあるものづくり日本大賞各賞を受賞されました皆さまに対しまして心よりお祝いを申し上げます。

「ものづくり日本大賞」は、我が国の産業・文化の発展を支え、豊かな国民生活の形成に大きく貢献してきた「ものづくり」を継承し、さらに発展させるため、中堅人材や、熟練人材、今後を担う若手人材など、「ものづくり」に直接携わる特に優秀と認められる個人やグループを表彰する制度です。本賞は、経済産業省、国土交通省、厚生労働省、文部科学省が連携し、2005年より隔年で開催しており、今回で5回目を迎えます。

今回の「ものづくり日本大賞」においては、全国で324件の応募があり、厳正なる審査の結果、東北地域から2件の経済産業大臣賞、1件の特別賞、3件の優秀賞、12件の東北経済産業局長賞、計18件86人の方々に授与させていただくこととなりました。受賞された皆さま方のご尽力に対しまして改めて敬意を表します。

今回東北地域で受賞されました方々の内容を拝見しますと、クレハ株式会社のPGA量産プロセスにおいて、他分野の研究者が持つ技術を融合することにより開発の成功に至ったケースやフロンティア・ラボ株式会社の分析システムの開発のように、長期間にわたり産学連携によりデータベースを蓄積し、システムの精度をあげ世界的に認められたもの。また、株式会社水沢鋳工所の南部鉄器製の内釜開発は伝統的な技術を活かし試行錯誤しながら現代の製品に融合させ成功させた事例など、「連携」や「融合」が成功へのキーワードとなっていると感じられました。さらには、従来から製品・部品として利用されているものを、より精度の高い品質向上へのチャレンジや人にやさしい食材・生活用品の開発などの案件が多く見られ、改めて人と人、知恵と知恵、技術と技術の結びつきが革新的なものづくりにおいて大切なものであると感じたところです。

今般、数多くの皆さまが受賞されましたことは、東北の「ものづくり」に携わる皆さまのたゆまぬ努力と情熱に裏打ちされた優れた技術を国内外に認識いただく絶好の機会になるとともに、東日本大震災からの復興とアベノミクス政策のもと日本経済再生に取り組む関係者の皆さまへの激励につながるものと期待しております。

最後になりますが、東北地域における「ものづくり」のますますの発展と関係者の方々のご活躍を心から祈念いたします。

第5回　ものづくり日本大賞　受賞者一覧（東北経済産業局管内関係）

【経済産業大臣賞】 2件	
多機能型熱分解装置を利用する高分子材料分析システムの開発	フロンティア・ラボ株式会社（福島県郡山市）
環境負荷低減を実現する高機能型生分解性樹脂ポリグリコール酸（PGA）の開発	株式会社クレハ（福島県いわき市）
【特別賞】	
業界初！IH炊飯ジャー用南部鉄器製内釜の開発	株式会社水沢鋳工所（岩手県奥州市）
【優秀賞】 3件	
次世代パワー半導体SiC研磨加工プロセスの開発	株式会社斉藤光学製作所（秋田県仙北郡美郷町）
新構造により従来の100倍以上の排気効率を実現したエコベントシステムの開発	株式会社斎藤金型製作所（山形県長井市）
水や油で濡れた危険床面でもすべりにくい歩行安全性に優れた超耐滑シューズの開発	弘進ゴム株式会社（宮城県亘理郡亘理町）
【東北経済産業局長賞】 12件	
プラスチック加工における射出成形での画期的なガス抜きピンの開発	株式会社プラモール精工（宮城県黒川郡富谷町）
日本の伝統的食品である昆布を薄く小片に削った「花けずりこんぶ」の開発と商品化	東和食品株式会社（岩手県宮古市）
高齢者及要介護者の食のクオリティ・オブ・ライフ	株式会社ベスト（山形県鶴岡市）
テコの原理を応用し、豊かな低音再生と薄さを両立させたHVT方式スピーカーの開発	東北パイオニア株式会社（山形県天童市）
MDF（中質繊維板）を利用した木質製品の開発	有限会社今木地製作所（青森県南津軽郡田舎館村）
マルチジャンクション・サーマルコンバータの開発・製品化	ニッコーム株式会社（青森県三沢市）
オープンキッチンの住環境性能を高めた機能性ステンレスシンクの開発	クリナップ株式会社（福島県いわき市）
生味噌の風味・特性を保ち、利便性・保存性に優れた画期的な顆粒味噌の開発と製造	かねさ株式会社（青森県青森市）
透明プラスチックペレット品質検査装置の開発	テクマン工業株式会社（山形県鶴岡市）
高性能サーバなど通信ネットワーク機器を支える電子回路基板材料	パナソニック株式会社（福島県郡山市）
硬脆材の微細切削加工を可能とするシステムの構築	日進工具株式会社（宮城県黒川郡大和町）
防縮で毛玉にならないウールニット糸の開発	株式会社ヒラシオ（山形県寒河江市）

旺盛なチャレンジ精神で
あらゆる分野の鋳造品を製造します
営業品目：FC200～300、FCD400～700、AC4A、AC4C、AC7Aの鋳造品

鋳造・機械加工・塗装の一貫生産工場
株式会社 水沢鋳工所
代表取締役社長　及川勝比古
〒023-0827　岩手県奥州市水沢区太日通り1-8-15
TEL 0197-24-7218　FAX 0197-24-7234